

ファイナルレポート

wire 2014 / Tube 2014

国際ワイヤー産業展 / 国際管材製造加工・技術展

2014年4月11日

線・管材業界を世界的に代表する専門メッセ《wire 2014 – 国際ワイヤー産業展》、そして《Tube 2014 – 国際管材製造加工・技術展》が独・デュッセルドルフ見本市会場で行われ、実質展示面積 108,000 m²超に、2,500 を上回る国際色豊かな出展者が集結し、線・管材機械・機器・製品の最新イノベーションを発信した。来場数は、世界 104 か国・およそ 72,000 人を記録している。

『wire / Tube 展は、まさに最適な時期に開催された。というのは、想定される今後の競争に打ち勝つため、まさに今投資を実行したいと考える企業が多いからだ。』と見るのは、メッセ・デュッセルドルフ社取締役 J. シェーファーだ。

鉄鋼・非鉄金属産業は、その他産業にとって信頼性のある早期指標だ。つまり、同産業が好調であれば全経済分野がうるおうとも言える。出展数・実質展示面積が最大となった wire / Tube 展は、鉄鋼市場に触発され堅調に推移する線・管材業界の今を見事に体現した。両メッセには、購買・投資意欲あふれるグローバルな来場者が多く、成約あるいはそれに結びつく活発な商談がなされ、メッセ終了後のビジネスにも期待が高まる、という雰囲気にあふれていた。それを証明するように、出展者のおよそ 98%が、wire / Tube 展全体について最高の評価を与えている。

wire 2014



《wire 2014 – 国際ワイヤー産業展》では、世界 54 か国・1,300 を超える出展者が、9～12 号館と 15～17 号館の計 7 ホール・約 58,500 m²(前回比 2%増)に最新製品・技術を発表した。

出展製品は、ワイヤー・ケーブル・グラスファイバー製造・加工機械・機器、工具、加工用補助材料、特殊ワイヤーから、測定・制御・検査技術、ロジスティクス、運搬システム、パッケージングにま



International Wire
and Cable Trade Fair

Internationale Fachmesse
Draht und Kabel


7-11 April 2014
www.wire.de



International Tube
and Pipe Trade Fair

Internationale
Rohr-Fachmesse

7-11 April 2014
www.tube.de

Industry Partner
Ideeller Träger: 



Messe Düsseldorf GmbH
Postfach 101006
40001 Düsseldorf
Messeplatz
40474 Düsseldorf
Germany

Telefon +49 (0)211/4560-01
Telefax +49 (0)211/4560-668
www.messe-duesseldorf.de
info@messe-duesseldorf.de


Geschäftsführung:
Werner M. Dornscheidt (Vorsitzender)
Joachim Schäfer
Bernhard Stempfle
Hans Werner Reinhard (Stv. GF)
Vorsitzender des Aufsichtsrates:
Dirk Elbers

Amtsgericht Düsseldorf HRB 63
USt-IdNr. DE 119 360 948
St.Nr. 105/5830/0663

Mitgliedschaften der
Messe Düsseldorf:



 Ausstellungs- und
Messe-Ausschuss der
Deutschen Wirtschaft

 FKM – Gesellschaft zur
Freiwilligen Kontrolle von
Messe- und Ausstellungszahlen

Öffentliche Verkehrsmittel:
U78/79: Messe Ost/
Stockumer Kirchstraße
Bus 722: Messe-Center/Verwaltung

で至る。なお、ファスナー技術は 15 号館、ばね製造関連は 16 号館に展示された。

なかでも来場者の注目を集めたのは、今年初めて設けられた 16 号館の『メッシュ溶接機械』ゾーンだ。同エリアにはおよそ 20 社が出展し、最新ソリューションを提案した。

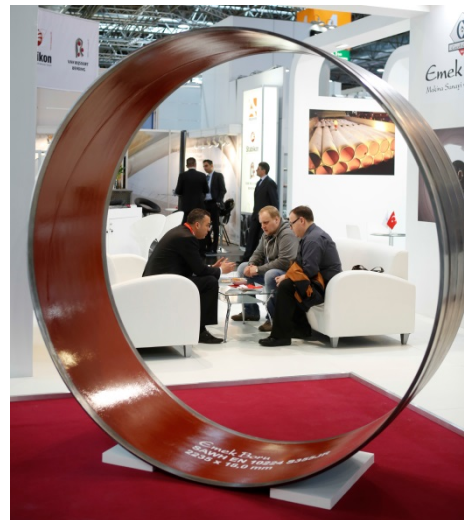
《wire 2014》に対し高い満足度を示したのは、特に工具・線材製造加工機械・材料メーカーや特殊ワイヤー・ケーブルをあつかう企業だった。アンケートに協力した出展者のほとんどが、メッセ後のビジネスに高い期待を示しており、来場者の専門性と質の高い商談を好感している。

日本からの出展者は、『前回よりも具体的な商談に進展することが多かった』、『良いビジネスにつながりそうな案件が見つかった』とふりかえっている。

Tube 2014

《Tube 2014 – 国際管材製造加工・技術展》には、世界 47 か国・1,200 社を超える企業が出展、1～7+7a 号館の約 50,000 m²(前回比 3.1%増)に、管材の最新製品・技術を発表した。

出展製品は、管材製品はもとより、原材料、製造機械、加工技術、工具、補助材料、測定・制御・検査技術、そして自動倉庫制御システム、プロファイル、同製造機械・機器など、管材に関する全バリューチェーンが網羅されている。注目のパイプライン・OCTG(油井管)技術・関連製品は、今回も設置された《チューブビジネス》ゾーンが、情報発信の場となった。



アンケートに協力した来場者のほとんどが、Tube 展全体、特に出展製品の質を高く評価し、また来場の目的は十分に果たされた、と回答している。

Tube 2014 について、『プロフェッショナルな来場者がほとんど』、あるいは『業界の変化を知ることができるよい機会』と、日本からの出展者がコメントを寄せている。

来場者分析

会期 5 日間で、《wire 2014 / Tube 2014》合わせて世界 104 か国からおよそ 72,000 もの業界関係者が来場した。そして、前回に引き続きドイツ国外からの来場割合が高かった。

《wire 2014》へのドイツ国外からの来場割合は 66%に、そしてその国の数は 70 にもおよんだ。なかでも顕著だったのは、日本、インド、米国、フランス、イタリア、英国、スイス、ベルギー、スペイン、スウェーデン、トルコ、オランダなどからの参加だった。産業別で内訳を見てみると、製造業＝75%、商業＝11%、手工業＝4%で、来場者の関心対象分野は、ワイヤー・条鋼・鋼帯加工機械＝

35%、同製造機械＝32%、完成品＝22%、関連機器(機械・工具など)＝21%、ファスナー技術＝15%、ばね製造技術＝11%、という結果になった。

《Tube 2014》には、55%がドイツ国外から来場し、その国の数は 62 を記録した。なかでも、イタリア、フランス、米国、オランダ、インド、スペイン、スウェーデン、トルコ、ポーランド、オーストリア、チェコ、英国などからの参加が顕著だった。産業別内訳は、製造業＝64%、商業＝18%、手工業＝6%で、関心対象分野は順に、管材＝54%、加工機械＝24%、再加工機械＝23%、材料＝21%、製造機械＝20%、付属品＝14%、プロファイル＝12%、同製造機械＝6%だった。

メッセ・デュッセルドルフが日本の出展・来場者を大歓迎

今回も(株)工業通信(＝電線新聞)は視察ツアーを企画、訪問団をデュッセルドルフへ派遣した。会期初日の4月7日、会場内にあるインターナショナルラウンジで、《wire 2014 / Tube 2014》統括部長ケーラーが視察団を迎え、歓迎のあいさつを行った。

翌8日夕方には、メッセ・デュッセルドルフ・ジャパンが本社と共同で、日本の出展・来場者を対象とした《Japan-Abend (＝レセプション)》を開催した。3回目となる今回はおよそ40名の出展・来場者が参加、メッセ終了後のリラックスした雰囲気の中活発な意見交換がなされ、そしてお互いの親睦を深めた。本イベントには、在デュッセルドルフ日本国総領事嶋崎氏にもご出席いただき、歓迎のごあいさつを頂戴した。

wire 2016 / Tube 2016

次回開催は、2016年4月4日(月)～8日(金)にデュッセルドルフ見本市会場で開催される。

『wire』・『Tube』に関するお問い合わせは、[\(株\)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン](#)、あるいは下記日本語ホームページをご覧ください。

wire = <http://wire.messe-dus.co.jp>

Tube = <http://tube.messe-dus.co.jp>

(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

担当：橋木 雅弘

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 4-1

ニューオータニ ガーデンコート 7F

TEL.: 03-5210-9951

FAX: 03-5210-9959